

6 盲・聾・養護学校数、特殊学級数及び就学者数の推移

Transition of Sp. Schools, Sp. Classes and Pupils

(1) 盲・聾・養護学校数の推移(国・公・私立)

Transition of Sp. Schools
(毎年度5月1日現在)

区分	計	盲学校	聾学校	養護学校			
				小計	精神薄弱	肢体不自由	病弱
昭和27年度	152(14)	72(5)	77(9)	3	1	—	2
28	164(11)	75(3)	84(8)	5	1	1	3
29	166(12)	75(2)	86(10)	5	1	1	3
30	169(12)	75(2)	89(10)	5	1	1	3
31	173(13)	74(3)	90(9)	9(1)	2	3(1)	4
32	180(16)	73(3)	91(10)	16(3)	7(1)	3(2)	6
33	188(17)	73(3)	92(11)	23(3)	8(1)	7(2)	8
34	201(15)	73(3)	92(10)	36(2)	14	11(2)	11
35	209(16)	73(3)	93(10)	43(3)	17(1)	14(2)	12
36	225(18)	73(3)	94(9)	58(6)	23(2)	20(2)	15(2)
37	246(23)	75(3)	97(8)	74(12)	28(2)	29(4)	17(6)
38	264(25)	76(1)	97(8)	91(16)	34(2)	37(6)	20(8)
39	279(30)	75(2)	98(8)	106(20)	42(2)	41(9)	23(9)
40	304(33)	75(2)	100(7)	129(24)	57(3)	47(12)	25(9)
41	322(34)	75(2)	101(7)	146(25)	66(2)	53(15)	27(8)
42	335(42)	73(2)	101(6)	161(34)	71(4)	63(19)	27(11)
43	345(46)	73(2)	101(6)	171(38)	75(5)	68(22)	28(11)
44	358(52)	73(2)	101(6)	184(44)	82(11)	73(22)	29(11)
45	367(55)	73(2)	102(6)	192(47)	87(14)	76(22)	29(11)
46	385(59)	73(2)	102(6)	210(51)	101(16)	78(24)	31(11)
47	406(65)	74(2)	103(6)	229(57)	113(19)	83(22)	33(16)
48	439(63)	74(2)	102(6)	263(55)	136(19)	89(21)	38(15)
49	485(69)	75(2)	101(6)	309(61)	164(24)	98(21)	47(16)
50	504(75)	72(5)	98(9)	334(61)	181(21)	101(21)	52(19)
51	535(70)	72(5)	99(8)	364(57)	204(18)	105(21)	55(18)
52	569(68)	71(5)	99(8)	399(55)	221(23)	115(17)	63(15)
53	622(65)	71(2)	100(10)	451(53)	265(18)	122(17)	64(18)
54	718(119)	71(2)	101(9)	546(108)	338(62)	137(21)	71(25)

(注) 1 ()内の数は分校を示し、外数である。2 昭和46年度以前のデータには沖縄県分を含まない。

(2) 盲・聾・養護学校の幼児・児童・生徒数の推移(国・公・私立)

Transition of Pupils attending Sp. Schools
(毎年度5月1日現在)

区分	計	盲学校	聾学校	養護学校			
				小計	精神薄弱	肢体不自由	病弱
昭和27年度	22,091	7,136	14,784	171	31	—	140
28	24,312	7,901	16,143	268	25	46	197
29	26,485	8,604	17,555	326	不明	不明	不明
30	28,142	9,090	18,694	358	60	61	237
31	29,575	9,460	19,505	610	不明	不明	不明
32	31,609	9,864	20,044	1,701	690	484	527

33	33,193	10,126	20,397	2,670	866	1,094	710
34	34,753	10,264	20,744	3,745	1,264	1,608	873
35	35,778	10,261	20,723	4,794	1,676	2,123	995
36	37,130	10,235	20,489	6,406	2,437	2,750	1,219
37	38,595	10,127	20,180	8,288	3,013	3,791	1,484
38	40,533	10,099	20,036	10,398	3,350	5,203	1,845
39	42,757	10,011	19,890	12,856	4,026	6,968	1,862
40	44,316	9,933	19,684	14,699	4,923	7,931	1,845
41	46,330	10,038	19,280	17,012	5,892	9,185	1,935
42	48,409	10,101	18,650	19,658	6,617	10,830	2,211
43	49,284	9,955	18,026	21,303	7,008	12,134	2,161
44	50,183	9,722	17,288	23,173	7,914	13,080	2,179
45	50,796	9,510	16,586	24,700	8,584	13,713	2,403
46	52,228	9,412	15,916	26,900	9,874	14,483	2,543
47	55,099	9,296	15,372	30,431	12,115	15,223	3,093
48	58,507	9,244	15,119	34,144	14,650	16,031	3,463
49	61,393	8,938	14,558	37,897	17,053	16,693	4,151
50	63,608	9,015	13,897	40,696	19,141	16,927	4,628
51	65,666	8,802	13,342	43,522	21,449	17,073	5,000
52	67,643	8,579	12,673	46,391	23,768	17,267	5,356
53	71,774	8,589	12,393	50,792	27,353	17,547	5,892
54	89,032	8,330	11,911	68,791	40,607	19,871	8,313

(注) 昭和46年度以前のデータには沖縄県分を含まない。

(3) 特殊学級数及び児童・生徒数の推移(国・公・私立)

Transition of Sp. Classes and Pupils
(毎年度5月1日現在)

年度	学級数			児童・生徒数		
	小学校	中学校	合計	小学校	中学校	合計
昭和27年度	705	123	828	18,744	3,285	22,029
28	650	146	796	17,595	3,093	20,688
29	808	174	982	18,103	2,823	20,926
30	930	242	1,172	20,497	3,983	24,480
31	1,004	314	1,318	19,765	4,559	24,324
32	1,036	395	1,431	17,276	5,702	22,978
33	1,253	538	1,791	18,621	6,670	25,291
34	1,529	713	2,242	20,256	8,399	28,655
35	2,029	908	2,937	24,406	10,430	34,836
36	2,555	1,112	3,667	28,546	12,890	41,436
37	3,203	1,374	4,577	34,339	15,885	50,224
38	3,920	1,793	5,713	39,687	19,595	59,282
39	4,664	2,365	7,029	45,821	24,693	70,514
40	5,484	3,043	8,527	51,445	30,224	81,669
41	6,429	3,838	10,267	58,206	37,238	95,444
42	7,298	4,562	11,860	63,553	42,885	106,438
43	8,065	5,215	13,280	68,750	48,245	116,995
44	8,720	5,807	14,527	71,305	51,611	122,916
45	9,290	6,250	15,540	72,676	52,976	125,652
46	9,826	6,587	16,413	74,039	53,549	127,588
47	10,825	6,856	17,681	79,315	53,343	132,658

48	11,706	7,002	18,708	81,649	52,087	133,736
49	12,548	7,132	19,680	82,882	49,833	132,715
50	13,313	7,260	20,573	84,204	48,165	132,369
51	13,777	7,223	21,000	84,491	46,445	130,936
52	14,129	7,196	21,325	83,729	45,222	128,951
53	14,352	7,155	21,507	82,125	42,950	125,075
54	14,084	6,783	20,867	77,139	38,580	115,719

(注) 昭和46年度以前のデータには沖縄県分を含まない。

7 学齢児童・生徒不就学状況及び長期欠席状況

(1) 学齢児童・生徒不就学状況

Number of school-Age Children and Pupils Not Attending School
(毎年度5月1日現在)

区分	総計	就学免除者			就学猶予者			
		計	6～11歳	12～14歳	計	6～11歳	12～14歳	
昭和42年度	21,103	9,427	6,129	3,298	11,676	10,121	1,555	
43	20,409	9,410	6,178	3,232	10,999	9,487	1,512	
44	20,941	9,761	6,426	3,335	11,180	9,604	1,576	
45	21,283	9,770	6,502	3,268	11,513	9,811	1,702	
46	21,267	9,436	6,222	3,214	11,831	9,965	1,866	
47	19,853	9,047	5,716	3,331	10,806	8,950	1,856	
48	17,803	7,981	4,818	3,163	9,822	7,843	1,979	
49	14,931	6,740	4,007	2,733	8,191	6,400	1,791	
50	13,088	5,584	3,262	2,322	7,504	5,726	1,778	
51	11,946	4,965	2,842	2,123	6,981	5,344	1,637	
52	10,750	4,163	2,356	1,807	6,587	5,016	1,571	
53	9,868	3,612	2,040	1,572	6,256	4,752	1,504	
54	3,367	963	544	419	2,404	1,748	656	
54年度不就学児童・生徒内訳	盲・弱視	14(65)	—	—	—	14(65)	13(55)	1(10)
	聾・難聴	22(73)	—	—	—	22(73)	17(60)	5(13)
	精神薄弱	1,256(4,880)	338(1,749)	176(929)	162(820)	918(3,131)	705(2,375)	213(756)
	肢体不自由	896(2,808)	383(1,379)	232(822)	151(557)	513(1,429)	395(1,117)	118(312)
	病弱・虚弱	386(851)	63(180)	41(112)	22(68)	323(671)	284(570)	39(101)
	教護院・少年院にいるため	317(305)	47(51)	5(17)	42(34)	270(254)	45(54)	225(200)
	その他	476(886)	132(253)	90(160)	42(93)	344(633)	289(521)	55(112)

(注) 1 昭和47年度以前のデータには沖縄県分を含まない。 2 ()内の数は昭和53年度の内訳

(2) 学齢児童・生徒長期欠席状況(国・公・私立)

Number of Children of Long Absence

区分	計			小学校	中学校	特殊教育諸学校計		盲学校		聾学校		養護学校	
	合計	小学部小学校計	中学部中学校計			小学部	中学部	小学部	中学部	小学部	中学部	小学部	中学部
昭和42年度間	75,085	36,680	38,405	35,756	37,842	924	563	121	77	212	67	591	419
43	70,018	35,393	34,625	34,612	34,145	781	480	118	46	175	68	488	366
44	65,121	33,042	32,079	32,238	31,576	804	503	80	61	167	56	577	386
45	61,921	32,080	29,841	31,206	29,325	874	516	84	48	129	44	661	424
46	58,469	31,302	27,167	30,488	26,693	814	474	85	44	104	37	625	393
47	55,162	30,050	25,112	29,183	24,566	867	546	67	42	66	35	734	469

48		56,479	30,428	26,051	29,110	25,376	1,318	675	107	50	74	41	1,137	584
49		51,397	27,244	24,153	25,881	23,490	1,363	663	80	48	60	26	1,223	589
50		50,151	26,057	24,094	24,919	23,572	1,138	522	78	45	65	32	995	445
51		53,678	27,915	25,763	26,335	25,103	1,580	660	86	45	61	17	1,433	598
52		53,728	26,086	27,642	24,487	26,874	1,599	768	74	32	34	12	1,491	724
53		51,216	24,498	26,718	23,055	26,004	1,443	714	72	29	36	22	1,335	663
53年度間長期欠席児童・生徒の理由別内訳	病気	30,475	17,922	12,553	16,810	11,976	1,112	577	61	23	20	10	1,031	544
	経済的理由	806	308	498	299	496	9	2	—	—	—	—	9	2
	学校ぎらい	13,669	3,219	10,450	3,211	10,429	8	21	1	—	1	5	6	16
	その他	6,266	3,049	3,217	2,735	3,103	314	114	10	6	15	7	289	101

- (注) 1 長期欠席者とは、1年間に通算50日以上欠席した者をいう。
2 昭和46年度以前のデータには沖縄県分を含まない。

8 特殊教育振興のための施策

(1) 特殊教育関係文部省著作教科書一覧 一昭和55年度使用一
盲学校小学部(点字版)

国語科	国語	1年 1・2	2年 1・2	3年 1・2	4年 1・2	5年 1・2	6年 1・2
社会科	社会	…	2年	3年 1・2	4年 1・2・3	5年 1・2・3・4	6年 1・2・3・4
算数科	算数	1年 1・2	2年 1・2	3年 1・2・3	4年 1・2・3・4	5年 1・2・3・4	6年 1・2・3・4
理科	理科	…	…	3年	4年 1・2	5年 1・2	6年 1・2

盲学校中学部(点字版)

国語科	国語	1年 1・2・3・4・資料編1	2年 1・2・3・4・資料編2	3年 1・2・3・4・資料編3
社会科	社会(地理)	1年～2年 1・2・3・4・資料編		…
	社会(歴史)	1年～3年 1・2・3・4・資料編		
	社会(公民)	…	…	3年 1・2・3・4・資料編
数学科	数学	1年 1・2・3・4	2年 1・2・3・4	3年 1・2・3・4
理科	第1分野	1年～3年 1・2・3・4・5・6		
	第2分野	1年～3年 1・2・3・4・5・6		
外国語科	英語	1年 1・2・資料編1・2・3	2年 1・2・3	3年 1・2・3

聾学校小学部

国語科	国語	ことばのべんきょう	1年 上・下	2年 上・下	3年 上・下	…	…	…
言語指導		ことばの練習	…	…	…	4年	5年	6年
音楽科	音楽	たのしいリズム	1年	2年	3年	4年	5年	6年

聾学校中学部

国語科	中等国語	言語編	1年～3年
-----	------	-----	-------

養護学校(精神薄弱)小学部

国語科	こくご	…	…	3年～4年 ☆	5年～6年 ☆☆
算数科	かずの本	…	…	3年～4年 ☆	5年～6年 ☆☆
音楽科	うたのほん	1年～2年	…	…	…
	おんがく	…	…	3年～4年 ☆	5年～6年 ☆☆

養護学校(精神薄弱)中学部

国語科	国語	1年～3年 ☆☆☆
-----	----	-----------

数学科	数の本	1年～3年 ☆☆☆
音楽科	音楽	1年～3年 ☆☆☆

(2) 特殊教育関係文部省著作指導書等一覧

区分	種別	書名	発行年月	発行者	定価	摘要
盲教育	解説書	盲学校学習指導要領解説	49.12	株式会社東洋館出版社	829円	盲学校学習指導要領を理解する上に必要な骨子となるべき事項を中心としてその要点を解説する。
	手引書	点字学習指導の手引	50.2	株式会社東山書房	1,600	点字学習指導に関する留意点を説明し、指導法や指導事例について解説する。
	事例集	養護・訓練指導事例集 —視覚障害教育編—	50.10	〃	496	盲学校における「養護・訓練」の指導の改善に役立てるため、養護・訓練の指導を進める際の諸問題について実践事例を示し解説する。
聾教育	解説書	聾学校学習指導要領解説	49.12	株式会社東洋館出版社	562	聾学校学習指導要領を理解する上に必要な骨子となるべき事項を中心としてその要点を解説する。
		国語科教科書指導書 —聾学校小学部1年用—	51.9	株式会社東山書房	410	聾学校小学部1年用国語科教科書(言語指導)の在り方と指導の実際について解説する。
		国語科教科書指導書 —聾学校小学部2年用—	〃	〃	370	聾学校小学部2年用国語科教科書(言語指導)の在り方と指導の実際について解説する。
		国語科教科書指導書 —聾学校小学部3年用—	52.8	〃	970	聾学校小学部3年用国語科教科書(言語指導)の在り方と指導の実際について解説する。
		国語科教科書指導書 —聾学校小学部4年用—	53.8	〃	1,150	聾学校小学部4年用国語科教科書(言語指導)の在り方と指導の実際について解説する。
		国語科教科書指導書 —聾学校小学部5年用—	54.9	〃	1,500	聾学校小学部5年用国語科教科書(言語指導)の在り方と指導の実際について解説する。
	手引書	聴能訓練の手びき	48.5	株式会社東山書房	726	昭和40年に発行した「聴能訓練の手引」に新しく検討を加え、改訂を行って学校教育現場の聴能訓練の効果的な在り方について解説する。
		言語障害教育の手びき	48.5	〃	372	特殊教育諸学校及び特殊学級における言語障害教育の手引きとして、指導法、指導事例、指導計画の立て方について詳細に解説する。
	事例集	養護・訓練指導事例集 —聴覚障害教育編—	50.10	〃	478	聾学校における「養護・訓練」の指導の改善に役立てるため、養護・訓練の指導を進める際の諸問題について実践事例を示し解説する。
精神薄弱教育	解説書	養護学校(精神薄弱教育)学習指導要領解説	49.10	株式会社東山書房	196	養護学校(精神薄弱教育)学習指導要領を理解する上に必要な骨子となるべき事項を中心としてその要点を解説する。
	指導書	うたのほん指導書 —養護学校(精薄)小学部音楽科教科書指導書—	40.8	東京書籍株式会社	145	総論で精神薄弱教育における音楽教育一般について、各論で各題材について、原則として左頁に音譜右頁に教材説明を述べる。
		おんがく☆指導書 —養護学校(精薄)音楽科教科書指導書—	40.11	〃	180	〃
		おんがく☆☆指導書 — 〃 —	40.5	〃	240	〃
		音楽☆☆☆指導書 —養護学校(精薄)中学部音楽科教科書指導書—	40.8	〃	290	〃
		かずのほん指導書(上) —養護学校(精薄)算数数学科教科書指導書—	40.4	〃	105	総論で精神薄弱教育における算数、数学指導の一般的な問題を、各論で教科書(かずの本☆)の具体的な取扱い方について述べる。

		—				
		かずのほん指導書 (下)	40.9	〃	135	教科書(かずのほん☆☆、数の本☆☆)の具体的な取扱い方について述べる。
		— 〃 —				
		こくご指導書(小学部 編)	41.3	〃	200	精神薄弱教育における国語指導の在り方と各単元の解説、展開例等(こくご☆、こくご☆☆)について述べる。
		— 養護学校(精薄)国 語教科書指導書—				
		国語指導書(中学部 編)	42.3	〃	190	精神薄弱教育における国語指導の在り方と各単元の解説、展開例等(国語☆☆)について述べる。
		— 〃 —				
	手 引 書	図画工作指導の手びき	43.3	〃	112	精神薄弱教育における図画・工作の意義、目標、指導法、領域とその展開等について述べる。
		— 養護学校(精薄)小 学部・中学部用—				
		体育指導の手びき	47.7	株式会社東山 書房	392	精神薄弱養護学校小学部及び中学部における体育科の意義、目標、内容、指導法及び指導の具体例について述べる。
		— 養護学校(精薄)小 学部・中学部用—				
		精神薄弱特殊学級教育 課程編成の手びき	48. 12	慶応通信株式 会社	300	小学校及び中学校に置かれる精神薄弱特殊学級における教育の意義、目標、内容の編成及び指導法について述べるとともに指導の具体例を示す。
		生活科指導の手引	49. 11	〃	250	生活科の意義、内容の説明、指導方法等について具体例をもって詳述する。
	事 例 集	養護・訓練指導事例集	50. 10	〃	220	精神薄弱養護学校における「養護・訓練」指導の改善に役立てるため養護・訓練の指導を進める際の諸問題について実践事例を示し解説する。
		— 精神薄弱教育編—				
肢 体 不 自 由 教 育	解 説 書	養護学校(肢体不自由 教育)学習指導要領解 説	49. 11	株式会社東洋 館出版社	802	養護学校(肢体不自由教育)学習指導要領を理解する上に必要な骨子となるべき事項を中心としてその要点を解説する。
	手 引 書	機能訓練の手びき	42.3	社会福祉法人 日本肢体不 自由児協会	475	機能訓練について、その理論と方法、運営と指導等に関する具体的な指針を述べる。
		脳性まひ児の理解と指 導	44.3	社会福祉法人 日本肢体不 自由児協会	700	精神発達遅滞を併せもつ脳性まひ児の特に入門期における指導の具体的方法について述べる。
		— 入門期における指導 のために—				
		職能の訓練の実際	45.3	〃	810	肢体不自由養護学校における「職能の訓練」の指導について、具体的に写真を中心として解説する。
		— 脳性マヒ児の指導の ために—				
		事 例 集	養護・訓練指導事例集	50. 10	慶応通信株式 会社	360
		— 肢体不自由教育編—				
		脳性まひ児指導事例集	51.2	株式会社東山 書房	426	肢体不自由養護学校における脳性まひ児の指導の改善に役立てるため、各教科の指導を中心に実践事例を示し解説する。
		— 各教科の指導—				
		脳性まひ児指導事例集	53.2	〃	310	肢体不自由養護学校における脳性まひ児の指導の改善に役立てるため、進路指導を中心に実践事例を示し解説する。
		— 進路指導—				
病 弱 教 育	解 説 書	養護学校(病弱教育) 学習指導要領解説	49. 11	株式会社東洋 館出版社	499	養護学校(病弱教育)学習指導要領を理解する上に必要な骨子となるべき事項を中心としてその要点を解説する。
	事 例 集	養護・訓練指導事例集	50. 10	株式会社東山 書房	321	病弱養護学校における「養護・訓練」の指導の改善に役立てるため、養護・訓練の指導を進める際の諸問題について実践事例を示し解説する。
		— 病弱教育編—				
		病弱児指導事例集	54. 11	慶応通信株式 会社	600	病弱養護学校における各教科の指導の改善に役立てるため、各教科の指導事例を示し、指導法を解説する。
		— 各教科の指導—				
		病弱児指導事例集	52.3	〃	390	病弱養護学校における病弱児の指導の改善に役立てるため、生活と進路の指導に関する指導事例を示し解説する。
		— 生活と進路の指導—				
重 複 障 害 教 育	手 引 書	重複障害教育の手びき	45.3	株式会社東洋 館出版社	567	盲聾、盲精薄、聾精薄の教育目標、内容、指導方法を中心に述べる。
情 緒 障 害 教 育	事 例	情緒障害児指導事例集	55.2	慶応通信株式 会社	430	情緒障害児の言葉の定義及び自閉児の学校における指導内容について述べる。
		— 自閉児を中心として				

一般	集 手 引 書	情緒障害教育事例集	48. 11	株式会社東山 書房	380	情緒障害教育における具体的な指導事例とさまざまな指導形態例について述べる。
		心身に問題をもつ児童の理解と指導	45. 11	〃	220	小学校において問題となる児童の具体的事例の問題のとらえ方を解説するとともに、心身障害児の理解と指導について述べる。
		心身に問題をもつ生徒の理解と指導	46. 10	株式会社東洋 館出版社	395	中学校において問題となる生徒の具体的事例の問題のとらえ方を解説するとともに、心身障害児の理解と指導について述べる。
		特殊教育百年史	53. 11	〃	2,100	明治以来の特殊教育百年の歩みを、制度及び行政を中心に記述したもので、本文と資料編の二部からなる。

(3) 昭和54年度特殊教育実験学校及び研究課題一覧

研究事項	研究課題	研究実施都 道府県	実験学校	研究委嘱期間
重複障害教育に 関する研究	盲・聾・精薄 盲学校における重複障害児の障害の特性に即した指導 内容・方法に関する研究	岩手県	岩手県立盲学校	昭和52年度～ 〃 54年度
	〃	山形県	山形県立鶴岡盲 学校	昭和54年度～ 〃 56年度
	〃	高知県	高知県立盲学校	昭和53年度～ 〃 55年度
	聾・精薄 聾学校における重複障害児の障害の特性に即した養護・ 訓練の指導内容・方法に関する研究	愛知県	愛知県立千種聾 盲校	昭和54年度～ 〃 56年度
	重度精薄 重度精神薄弱児の指導内容・方法に関する研究 －児童福祉施設との連携において－	山口県	山口県立田布施 養護学校	昭和53年度～ 〃 55年度
	肢体不自 由・精薄 重複障害児の教育内容・方法に関する研究 －児童福祉施設との連携において－	群馬県	群馬県立二葉養 護学校	〃
情緒障害教育に 関する研究	情緒障害 情緒障害児の教育内容・方法に関する研究	青森県	青森県立八戸第 二養護学校	昭和52年度～ 〃 54年度

計 7校

(4) 昭和54年度特殊教育課程研究指定校及び研究課題一覧

(1) 一般研究指定校(昭和53年度から2年間)

区分	研究指定校	研究課題	
視覚障害	長野県長野盲学校	児童の実態に即した学習集団の編成と指導内容・方法の研究	
	大阪府立盲学校	職業学科における教科内容の精選と指導の研究	
	静岡県立静岡盲学校	交流による教育の望ましい在り方の研究	
	静岡市立西豊田小学校	同上	
聴覚障害	北海道札幌聾学校	養護・訓練の指導	
	千葉県立千葉聾学校	言語活動の基礎的指導	
	香川県丸亀市立城北小学校	補聴器装用に関する指導	
精神薄弱	岩手県立花巻養護学校	児童生徒の実態に即した指導内容・方法に関する研究	
	新潟県立高田養護学校	同上	
	岐阜市立岐阜養護学校	同上	
	熊本県立松橋西養護学校	同上	
	京都市立白河養護学校	生徒の実態に即した指導内容・方法に関する研究	
	愛媛県大洲市立喜多小学校	児童の実態に即した指導内容・方法に関する研究	
	茨城県結城市立結城中学校	進路指導に関する研究	
	福井県大野市立陽明中学校	同上	
	肢体不自由	山形県立上山養護学校	特別活動の指導
		山梨県立甲府養護学校	養護・訓練の指導
鹿児島県立鹿児島養護学校		特別活動の指導	
病弱	福島県立須賀川養護学校	病弱児童生徒の実態に即した指導内容・方法に関する研究	
	長野県若槻養護学校	同上	
	香川県立善通寺養護学校	同上	
言語障害	神戸市立西脇小学校	言語指導の計画と方法	

計 22校

(2) 特別研究指定校
ア 昭和52年度から継続

区分	研究指定校		研究課題
	県名	校名	
肢体不自由	千葉県	船橋市立二宮中学校	身体障害の生徒の指導法に関する研究

1校

イ 昭和53年度から継続

区分	研究指定校		研究課題
	県名	校名	
肢体不自由	福井県	福井県立勝山精華高等学校	身体障害の生徒の指導法に関する研究
	静岡県	静岡県立裾野高等学校	
	愛知県	愛知県立横須賀高等学校	
	香川県	香川県立石田高等学校	
	愛媛県	愛媛県立松山聾学校(高等部)	
	大分県	大分県立別府養護学校(高等部)	

計 6校
合計 7校

9 特殊教育関係教員養成大学等一覧

(1) 教員養成大学等一覧
(昭和55年度)

区分	大学名	設立年月日	修業年限	定員	入学資格		
盲学校教員養成課程	宮城教育大学	2大学	昭和40年4月1日	4年	各15人	大学入学資格(学校教育法第56条)を有すること。	
	広島大学						28.4.1
聾学校教員養成課程	東京学芸大学	6大学	28.4.1	4年	各15人	同上	
	金沢大学						41.4.1
	大阪教育大学						40.4.1
	広島大学						29.4.1
	愛媛大学						42.4.1
	福岡教育大学						40.4.1
養護学校教員養成課程	北海道教育大学	47大学	37.4.1	4年	北海道教育大学のみ40人 他は各20人	同上	
	弘前大学						40.4.1
	岩手大学						42.4.1
	宮城教育大学						43.4.1
	秋田大学						43.4.1
	山形大学						40.4.1
	福島大学						47.4.1
	茨城大学						41.4.1
	宇都宮大学						43.4.1
	群馬大学						42.4.1
	埼玉大学						44.4.1
	千葉大学						40.4.1
	東京学芸大学						35.4.1

	横浜国立大学		47.4.1			
	新潟大学		44.4.1			
	富山大学		42.4.1			
	金沢大学		39.4.1			
	福井大学		40.4.1			
	山梨大学		39.4.1			
	信州大学		42.4.1			
	岐阜大学		40.4.1			
	静岡大学		37.4.1			
	愛知教育大学		39.4.1			
	三重大学		41.4.1			
	滋賀大学		42.4.1			
	京都教育大学		38.4.1			
	大阪教育大学		38.4.1			
	神戸大学		41.4.1			
	奈良教育大学		41.4.1			
	和歌山大学		42.4.1			
	鳥取大学		40.4.1			
	島根大学		41.4.1			
	岡山大学		40.4.1			
	広島大学		35.4.1			
	山口大学		41.4.1			
	徳島大学		41.4.1			
	香川大学		40.4.1			
	愛媛大学		43.4.1			
	高知大学		39.4.1			
	福岡教育大学		41.4.1			
	佐賀大学		43.4.1			
	長崎大学		42.4.1			
	熊本大学		38.4.1			
	大分大学		41.4.1			
	宮崎大学		44.4.1			
	鹿児島大学		48.4.1			
	琉球大学		47.4.1			
肢体不自由児教育教員養成課程	愛知教育大学	3大学	47.4.1	4年	各20人	同上
	大阪教育大学		44.4.1			
	福岡教育大学		44.4.1			
病虚弱児教育教員養成課程	大阪教育大学	1大学	48.4.1	4年	20人	同上
言語障害児教育教員養成課程	宮城教育大学	4大学	47.4.1	4年	各20人	同上
	東京学芸大学		43.4.1			
	金沢大学		48.4.1			
	大阪教育大学		45.4.1			

養護学校(精神薄弱教育)臨時教員養成課程	群馬大学	5大学	50.4.1	1年	各20人	小・中・高等学校又は幼稚園の教員の普通免許を有すること。(取得見込を含む)
	滋賀大学		50.4.1			
	岡山大学		55.4.1			
	香川大学		50.4.1			
	愛媛大学		53.4.1			
肢体不自由教育臨時教員養成課程	横浜国立大学	2大学	48.4.1	1年	各20人	同上
	愛知教育大学		49.4.1			
言語障害教育臨時教員養成課程	北海道教育大学	5大学	46.4.1	1年	各20人	同上
	宮城教育大学		50.4.1			
	千葉大学		54.4.1			
	横浜国立大学		50.4.1			
	福岡教育大学		53.4.1			
情緒障害教育臨時教員養成課程	東京学芸大学	3大学	48.4.1	1年	各20人	小・中・高等学校又は幼稚園の教員の普通免許を有すること。(取得見込を含む)
	愛知教育大学		50.4.1			
	奈良教育大学		55.4.1			
病虚弱教育臨時教員養成課程	横浜国立大学	1大学	49.4.1	1年	20人	同上
重複障害教育臨時教員養成課程	岐阜大学	2大学	54.4.1	1年	各20人	同上
	京都教育大学		52.4.1			
指定教員養成機関	筑波大学医療科教員養成施設	1大学	53.4.1	2年	20人	高等学校卒業資格を有し、あん摩マッサージ師圧師、はり師、きゆう師の免許状を有すること。(取得見込を含む)
特殊教育特別専攻科精神薄弱教育専攻	岩手大学	13大学	52.4.1	1年	各30人	大学卒業資格を有し、小・中・高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許を有する(取得見込を含む)か、小・中学校もしくは幼稚園の教諭の一級普通免許または高等学校の教諭の普通免許を有すること。
	秋田大学		55.4.1			
	茨城大学		55.4.1			
	東京学芸大学		48.4.1			
	横浜国立大学		50.4.1			
	福井大学		52.4.1			
	山梨大学		54.4.1			
	愛知教育大学		49.4.1			
	京都教育大学		49.4.1			
	三重大学		54.4.1			
	広島大学		48.4.1			
	熊本大学		48.4.1			
	琉球大学		53.4.1			
特殊教育特別専攻科肢体不自由教育専攻	福岡教育大学	1大学	51.4.1	1年	30人	同上
特殊教育特別専攻科言語障害教育専攻	大阪教育大学	3大学	49.4.1	1年	各30人	同上
	金沢大学		50.4.1			
	愛媛大学		51.4.1			
特殊教育特別専攻科病虚弱教育専攻	宮城教育大学	1大学	50.4.1	1年	30人	同上

特殊教育特別専攻科重複障害教育専攻	横浜国立大学	1大学	53.4.1	1年	30人	同上
-------------------	--------	-----	--------	----	-----	----

(2) 特殊教育研究機関等一覧

区分	名称	設立年月日
国立研究機関	国立特殊教育総合研究所	46.10.1
大学院心身障害学研究科心身障害学専攻	筑波大学	51.4.1
大学院教育研究科障害児教育専攻	筑波大学	52.4.1
大学院教育学研究科障害児教育専攻	東京学芸大学	49.4.1
	横浜国立大学	55.4.1
	愛知教育大学	54.4.1
	大阪教育大学	51.4.1
大学院学校教育研究科障害児教育専攻	広島大学	55.4.1
国立大学教育学部附属教育研究施設	東京学芸大学教育学部附属特殊教育研究施設	38.10.1
	愛知教育大学教育学部障害児治療教育センター	47.4.1
筑波大学学校教育部	筑波大学	52.4.1

10 特殊教育関係予算額年度別推移

(単位:千円)

事項	49年度	50年度	51年度	52年度	53年度	54年度	55年度
心身障害児適正就学の充実	—	—	—	—	—	(26,581) 27,402	28,002
特殊教育100年記念等事業経費	—	—	—	—	(9,797) 10,100	—	—
養護学校教育義務化普及促進事業	—	—	—	—	(17,462) 18,002	—	—
教職員研修費	(14,865) 15,646	(14,770) 17,923	(14,868) 15,615	(35,618) 37,494	(38,254) 39,436	(68,944) 71,075	71,830
教育内容改善費	(18,830) 19,812	(16,435) 20,162	(22,970) 24,179	(22,667) 23,860	(22,002) 22,683	(22,138) 22,823	20,247
義務教育費国庫負担金 (盲学校・聾学校)	(10,935,544) 8,928,981	(12,499,258) 12,127,942	(13,430,271) 13,336,855	(14,995,844) 14,626,315	(15,578,297) 15,886,569	(16,784,284) 16,657,284	16,809,934
給与費等	(10,819,645) 8,813,082	(12,365,542) 11,994,226	(13,297,048) 13,203,632	(14,861,426) 14,491,897	(15,435,937) 15,744,209	(16,620,900) 16,493,900	16,641,000
教材費	115,899	133,716	133,223	134,418	142,360	163,384	168,934
養護学校教育費国庫負担金	(17,401,013) 14,123,833	(22,920,095) 22,419,082	(28,281,122) 26,758,954	(32,622,382) 31,245,884	(35,946,761) 36,599,108	(53,270,421) 49,860,890	56,352,398
給与費等	(17,212,268) 13,935,088	(22,673,217) 22,172,204	(28,000,786) 26,478,618	(32,308,756) 30,932,258	(35,612,883) 36,265,230	(52,800,306) 49,390,775	55,858,769
教材費	188,745	246,878	280,336	313,626	333,878	470,115	493,629
特殊教育の振興	(2,896,162) 2,729,599	(3,780,614) 3,835,541	(4,521,720) 4,540,412	(5,312,410) 5,331,701	(6,362,927) 6,374,818	(6,450,416) 7,199,072	7,238,395
特殊教育振興事務	(9,113) 9,578	(8,905) 10,982	(8,705) 9,163	(8,306) 8,744	(8,404) 8,664	(5,785) 5,963	11,466
心身障害児の理解認識の推進	—	—	—	—	—	(83,636) 86,223	86,373
特殊教育推進地区の設置	(2,417)	—	—	—	—	—	—

	2,535						
学校教育設備整備費等補助金	(605,708) 612,966	(695,510) 748,360	(800,761) 818,995	(882,464) 901,317	(600,867) 610,017	(700,606) 711,275	656,514
・盲学校設備費	15,254	14,850	(12,176) 12,488	(25,026) 25,668	(24,651) 25,026	(24,651) 25,026	48,438
・聾学校設備費	38,958	48,000	(45,522) 46,690	(43,701) 44,822	(47,971) 48,702	(44,517) 45,195	55,396
・養護学校設備費	23,500	26,225	(23,653) 24,259	(22,705) 23,288	(23,303) 23,658	(70,130) 71,198	15,008
・幼稚部設備費	10,800	13,200	(12,003) 12,312	(11,524) 11,819	(11,349) 11,522	(2,719) 2,760	2,760
・重複障害教育設備費	11,700	11,700	(17,993) 18,454	(17,273) 17,716	(17,014) 17,273	(17,014) 17,273	17,273
・寄宿舎設備費	11,075	11,825	(10,665) 10,938	(10,239) 10,501	(10,085) 10,239	(10,085) 10,239	9,784
・スクールバス購入費	46,850	59,375	(77,676) 79,667	(74,242) 76,146	(76,326) 77,489	(215,964) 219,253	193,722
・職業教育設備費	56,184	59,523	(55,756) 57,186	(55,840) 57,271	(55,003) 55,840	(47,842) 48,571	62,128
・養護・訓練設備費	56,700	74,700	(75,488) 77,423	(72,468) 74,326	(71,381) 72,468	(71,381) 72,468	72,468
・特別活動設備費	—	—	—	—	—	—	18,269
・クラブ活動設備費	17,340	20,028	(17,999) 18,461	(17,280) 17,723	(17,021) 17,280	(17,021) 17,280	—
・創作教材材料費	—	—	—	—	(40,912) 41,535	(40,912) 41,535	41,535
・特殊学級設備費	(202,748) 208,475	232,300	(214,381) 219,878	(206,433) 211,726	(205,851) 208,985	(138,370) 140,477	119,733
国際会議開催経費補助	—	(5,100) 6,000	—	—	—	—	—
私立特殊教育教育費補助	(93,049) 93,448	(123,186) 125,240	(182,502) 183,400	(262,858) 264,127	—	—	—
養護学校教育義務制等準備活動費補助	(21,550) 22,682	(38,350) 45,364	(54,947) 57,839	(62,875) 66,184	—	—	—
特殊教育就学奨励費補助金・交付金	(2,069,319) 1,894,905	2,633,144	3,154,114	3,688,890	4,398,446	(4,873,889) 5,609,111	5,516,542
特殊教育介助職員設置費補助金	—	—	—	—	—	786,500	967,500
特殊教育訪問指導費等補助金	209,615	443,055	558,140	732,750	(1,355,210) 1,357,691	—	—
特殊教育訪問指導費等補助	209,615	443,055	558,140	732,750	1,275,000	—	—
養護学校教育義務制等準備活動費補助	—	—	—	(80,210) 82,691	—	—	—
私立高等学校等経常費助成費補助金(特殊教育教育費補助)	—	—	—	—	433,000	695,000	843,000
公立特殊教育施設整備費補助金	7,159,949	9,405,000	10,114,000	11,000,000	19,607,000	16,174,000	17,232,000
教職員養成費 (臨時教員養成課程養護学校教員等養成課程新設)	49,062	79,568	76,777	72,830	80,644	82,530	84,202

国立大学附属学校の新設等	64,074	74,736	51,137	33,041	32,959	45,328	15,290
国立特殊教育総合研究所	(391,263) 353,108	(401,851) 410,401	(463,921) 466,070	(614,181) 616,892	(535,868) 557,793	(585,297) 587,010	584,228
合計	(38,930,762) 33,444,063	(49,161,821) 48,390,355	(56,976,753) 55,383,999	(64,708,973) 62,988,017	(78,664,971) 79,662,112	(97,204,939) 91,422,414	99,279,526

- (注) 1 以上の外、義務教育教科書費、理科教育設備整備費補助金、教育研究費補助金、要保護及び準要保護児童生徒援助費補助金(医療費)、日本学校安全会補助金等の中に、盲・聾・養護学校分経費が、義務教育費国庫負担金の中に特殊学級分経費が含まれている。
2 上段()書は補正後を示す。

11 特殊教育就学奨励費補助金・交付金の支給費目一覧 (昭和55年度)

経費区分 部別等		盲・聾・養護学校							特殊学級	
		幼稚部	小学部		中学部	高等部			小学校	中学校
						本科	別科	専攻科		
教科用図書購入費		31	31	39	
学校給食費		40	29	29	33	33	43	46	46	
交通費	通学費	本人	38	29	29	34	34	44	46	46
		付添人	38	1~3 30	4~6 44(肢)48(重)	44(肢)49(重)
	帰省費 (寄宿生)	本人	38	29	29	34	34	44
		付添人	38	30	30
	職場実習交通費		45	45	45
寄宿舎居住に伴う経費	寝具購入費		38	29	29	35	35
	日用品等購入費		38	29	29	35	35	41
	食費		38	30	30	36	36	41
修学旅行費	修学旅行費	本人	...	35	35	37	37	...	46	46
		付添人	...	51	51
	校外活動費		45	44	44	51	51	...	46	46
	宿泊生活訓練費		...	53	54
学用品購入費		45	36	36	42	42	...	46	46	
新入学児童生徒学用品費等		...	50	50	50	50	
通学用品購入費		45	42	42	52	52	...	46	46	

1. 灰色内の数字は初めて支給された年度を示す。
2. 小学部4年から中学部3年に係る通学生の付添人の交通費(小1~小3までは全員に支給)は、肢体不自由養護学校の児童・生徒の通学付添人及びその他の学校の重度・重複障害児の通学付添人の交通費に係る経費である。
3. 修学旅行の付添費は、肢体不自由養護学校の小・中学部の児童・生徒及びその他の学校の重度・重複障害児の付添人についての経費である。
4. 小・中学部及び高等部の本科・別科に対する経費は法律により支弁する経費(法律補助)である。(ただし、小・中学部の通学用品購入費、修学旅行費(修学旅行付添人経費・校外活動費及び宿泊生活訓練費)、新入学児童生徒学用品費等、小学部4年から中学部3年に係る通学付添交通費及び高等部(本科・別科)の学用品購入費、通学用品購入費、交通費(職場実習交通費、修学旅行費(校外活動費)は除く。)
5. 幼稚部、高等部の専攻科及び「4」のただし書に示す経費並びに特殊学級の経費は法律の趣旨に準じて支弁する経費(予算補助)である。